

2月16日～29日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/02/18 (月)	東京はノーザンロックの国有化報道などを好感した動きから円売り優勢。ただNY休場もあり動意は乏しい。欧米はNY休場もあり高い開散。ただ、ノーザンロック報道を受けて英財政負担増懸念からポンドは軟調。	・12月の景気先行指数45.5%、同第三次産業活動指数 0.6% ・ECB緊急会合実施の噂 ・NY市場が休場	・英現地紙がノーザンロック銀国有化報道 ・カール首相「金融大手クレディスイス株へ出資した」	107.80	158.17	寄付
08/02/19 (火)	東京は108円はさみで方向性乏しい。一方、追加利上げ観測から豪ドルが対円などで堅調裡。欧米は株価動向をにらみつドルがやや冴えない。まだ原油高も嫌気されたが米経済指標は良好だった。	・中国が利上げするとの噂 ・テキサス州製油所事故の影響もあり原油価格が終値ベースで初めて100ドル突破 ・2月の米NAHB住宅市場指数20	・2月の豪中銀議事録「0.5%の利下げを検討した」 ・クレディスイスが第1四半期の資産担保証券評価損を28.5億ドル引き下げ、との一部報道あり	108.18	158.46	寄付
08/02/20 (水)	東京はFT紙の報道を受けた信用力リクの再燃観測から株安・円高へ。日経平均は400円以上上げた。欧米は強い米CPIが発表されたが、一方でFOMC議事録で追加利下げが示唆され、それを好感円安へ。	・独地銀に経営不安の噂 ・1月の米CPIは0.4%、同住宅着工101.2万戸、同住宅着工許可104.8万戸 ・FOMC議事録「複数の高官が著しい下方リスクを指摘」	・FT紙「KKR傘下の金融会社がCPの返済延期を要請」 ・2月BOE議事録「金利引き下げは8対1」 ・独経済相「08年ユーロ圏GDP見直し下方修正の必要なし」	107.95	159.00	寄付
08/02/21 (木)	東京は株式市場の上昇もあり円安が進行したものの108円前半からはオファー厚くドルの上値も重い。欧米はFF連銀指数が予想以上の悪化を示したことで米追加利下げ観測が高まり、ドル売りが優勢に。	・1月の貿易収支 793億円 ・2月の米FF連銀業況指数 24.0、1月の米景気先行指数 0.1%	・セントクス英中銀金融政策委員「英景気後退のリスクは極めて低い」 ・欧州委員会「ユーロ圏の0.8年GDP伸び率見直しを2.2%から1.8%に引き下げ」	108.05	159.06	寄付
08/02/22 (金)	東京はショートカバーからドル買い先行。しかしハッジファンド解約報道などからサブプライム懸念再燃し円高へ。欧米は円は続伸し106円台をつけるも、その後はCNBC報道を好感した円売りが再び優勢。	・米投資会社傘下のハッジファンドに解約の報道あり ・2月月例経済報告で基調判断が15ヶ月ぶりに下方修正される ・米銀によるスイス銀買収の噂	・日銀総裁「国際金融資本市場はなお不安定」 ・ダラス連銀総裁「長期間にわたるマイナス成長より成長の鈍化を予想」 ・CNBC「アメリカ資本増強発表近い」	107.43	159.14	寄付
08/02/25 (月)	東京はFT紙報道が円買い材料として寄与したものの、米モライシ救済策がまとまるとの噂もあり行って来い。欧米はS&Pによる報道を受けてNYダウが急騰。それに併せてドルも108円台まで急伸となった。	・FT紙「中国投資有限責任会社が100億ドル規模の日本株購入計画」 ・カールによる欧州銀への投資拡大、との一部報道あり ・1月の米中古住宅販売件数489万戸	・前FRB議長「原油ブームは永遠に続く見込み」 ・バーカー英中銀金融政策委員「英リセッション入りの可能性低い」 ・S&P「MBIAを財務格下げの見直し対象から外す」	107.35	159.22	寄付
08/02/26 (火)	東京はモライシの資本増強策に対する不満などから円買い優勢。ドル/円は再び108円割れへ。欧米はPPIの高さから利下げ観測が後退したものの、コロン発言などもあり流れが一変した。	・2月の独IFO景況指数104.1 ・12月のS&Pケーススター住宅価格指数2.3%、1月PPIは1.0%、2月の消費者信頼感指数75.0、同リッチモンド連銀製造業景況指数 5	・アメリカの資本増強策は不十分との一部報道あり ・コロンFRB副議長「住宅市場はさらに悪化、長期化も」 ・ムーティーズ「MBIA格下げ方向での見直し解除」	108.05	160.28	寄付
08/02/27 (水)	東京は米景気後退懸念に加え利下げ実施期待を受けて円買い優勢。とくにクロスで一段高。欧米はFRB議長の追加利下げ示唆などが嫌気されるも、連邦住宅公社監督局の発表からドル反発へ。	・3月独GfK消費集信信頼感指数4.5 ・1月の米耐久財受注 5.3%、同新規住宅販売58.8万戸 ・米連邦住宅公社監督局が「ブレイマックとファミリーのポートフォリオ制限を3/1に解除」を発表	・独連銀総裁「市場の金利見直しはインフレを過小評価」 ・FRB議長「FRBは成長支援に向け必要に応じタイムリーに行動」	107.40	161.06	寄付
08/02/28 (木)	東京はドル/円は小動き。そうしたなかRBSの報道を受けてポンドが対ドル中心に独歩安。欧米はFRB議長による銀行破綻発言が嫌気されドルは全面安。ドル/円も105円割れうかがう。	・1月の鉱工業生産 2.0% ・2月の独失業率8.0%、同失業者数 7.5万人 ・第4四半期米改定値0.6%、同コアPCE価格指数改定値2.7%、同個人消費改定値1.9%	・英RBSがクレジット市場関連の評価損21億ポンド計上と報道される ・ベルギー財務相「ユーロ高は懸念」 ・FRB議長「一部小規模銀行が破綻するリスクはある」	106.40	160.83	寄付
08/02/29 (金)	東京は株価が300円以上下落したこともあり円買い優勢。リバトリによる円買いも断続的に観測された。欧米はCNBCの報道に加え、米経済は悪化したものが多くドル売り要因に。対円では103円台へ。	・1月の失業率3.8%、同全国消費者物価0.7% ・1月の米個人所得0.3%、同個人消費0.4%、2月のシカゴ購買部協会指数44.5、同シカゴ大消費者信頼感指数70.8	・米財務長官「強いドルは米国にとって国益」 ・CNBC「アメリカ資本増強計画が難航」 ・ムーティーズ「増資が成功すれば目標水準達成」	104.93	159.41	寄付

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>